

1学期も終わりが近づき、夏休みが始まろうとしています。振り返ると、学校では新年度の忙しい時期から球技大会があり、部活動では大事な大きな試合があって、そして試験を乗り切ったと思うと1学期が終わっていた。そんな感じでしょうか。しかし、高校3年生は進路を決定しなければならない大切な時期。この夏休みこそ、学習を充実させなければなりません。「夏休みが始まったら・・・」と考えている人は、初日から有意義な1日にするために今、夏休みに向けて準備をしましょう。

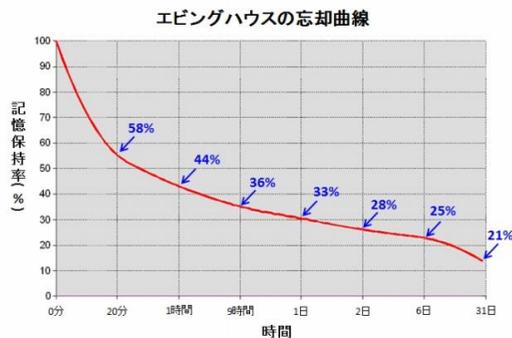
夏休みをどう過ごす？

期末テストの結果を振り返ると、試験範囲の内容以前の基礎的・基本的な内容、例えば、数学なら簡単な計算ミスや、記号を誤って書くことによる減点が目立ちました。原因は、日々の学習において内容が定着していないことだと思います。知識を定着させるために、学んだことを振り返ることはとても重要なことです。そこで、ここでは夏休みの学習での復習を充実させるためのコツをいくつか紹介します。

・できるだけその日のうちに反復、翌日に必ず復習

エビングハウスの忘却曲線というものを知っていますか？人の記憶を数値化したグラフで、記憶の特長は、最初は一気に忘れ、次第にゆっくりと忘れるようになるということがわかります。

「忘れないようにする＝短期記憶から長期記憶」にするためには、記憶が残っている早い段階での復習が効率的なので、その日のうちに反復、翌日に必ず復習しましょう。



・Classiの「学習記録を活用」

Classiの機能の1つ、「学習記録」というものを知っていますか？日々の学習をまとめることのできる機能で、これまでに学習に充てた時間の詳細を確認することができます。何をどれだけやってきたのか？を実感することは、学習に対する意欲の向上につながります。



指定校推薦への考え方

期末テストも終わり、これで推薦入試に関する成績はすべて出そろうこととなります。思い通りの結果が出そうな人から、大きく進路変更を考えなければいけない人まで、それぞれの思いがあると思いますが、今回は大学・短大の「指定校推薦」に対する考え方を皆さんにお伝えします。

指定校推薦とは

指定校推薦とは、大学・短大・専修学校から高等学校に対して、学部・学科・専攻別に「推薦枠」が通知されます。この「推薦枠」に対して各学校が示す成績基準などを満たす希望者がいる場合、高等学校内で選考し、出願・受験へと進む方式です。

指定校推薦は「専願」であり、他校や他学部・他学科との併願は認めません。

以上が指定校推薦の簡単な説明ですが、よく言われるのは、指定校推薦は「大学と高校との信頼関係」の上に成り立っているのです。よほどのことがない限り「不合格としない」ということです。だからこそ、指定校推薦を受けることができれば、確実に第一希望の進学先に進むことができるのです。そして、星城高校でも多くの先輩たちが指定校推薦で進路を決めてきました。

しかし、近頃、指定校推薦について、大学から次のような話を聞くようになりました。

- ①面接で第一志望ではないと答える生徒がいる。
- ②アドミッションポリシーを十分に理解していない。
- ③面接でパンフレットの内容程度の回答しかしない。
- ④入学前課題の取り組みが不十分である。

これらの内容は「大学と高校との信頼関係」を高校が裏切ることにつながります。そうなれば「不合格となる」ことも十分に考えられます。また、後輩たちの指定校推薦枠にも関わります。

以上の点を十分に理解した上で、指定校推薦に取り組んでください。

就職試験はいよいよ本番

就職を希望する人にとっては、この夏休みは最も大切な時期です。就職試験を受ける企業が決まり、履歴書を書き、面接の練習が始まります。企業とのマッチングは大丈夫ですか？労働条件、休日、給料などしっかりと確認しましたか？就職してから、現実とは違ったということのないように細心の注意を払うようにしましょう。

☆今後の学習進路関係スケジュール☆

07月18日(水)～21日(土)	保護者会(生徒家庭学習日)
07月20日(金)	終業式
07月23日(月)～25日(水)	欠点科目確認テスト
08月16日(木)	出校日
09月01日(土)	始業式
09月04日(火)～07日(金)	欠点科目確認テスト(公欠者対象)
10月02日(火)	中間テスト時間割発表
10月09日(火)～12日(金)	中間テスト